

氏名	有安 早苗
授与した学位	博士
専攻分野の名称	博士（保健学）
学位授与番号	博甲第5179号
学位授与の日付	平成27年 3月25日
学位授与の要件	保健学研究科 保健学専攻 (学位規則第5条第1項該当)
学位論文の題目	Simultaneous immunostaining with anti-S100P and anti-SV40 antibodies revealed the origin of BK virus-infected decoy cells in voided urine samples
論文審査委員	片岡 幹男 教授、廣畑 聡 教授、石川 哲也 准教授

学位論文内容の要旨

尿中に出現するBK virus (BKV) 感染細胞は、細胞診ではデコイ細胞として検出され、臨床的に重視されるが、由来同定は困難とされてきた。本研究では、尿中感染細胞の由来同定を目的に、尿路上皮マーカーの抗S100P抗体とBKV感染を証明する抗SV40抗体を用いた同時二重染色を試みた。尿細胞診パピニコロウ染色標本で、デコイ細胞の形態を示し、SV40陽性を示す感染細胞を認めた66症例を対象に、S100PとSV40の混合抗体による同時二重免疫染色法を行った。感染細胞にはS100P陽性を示すものと陰性を示すものが存在し、前者は尿路上皮由来、後者は尿細管上皮由来と考えられた。また、尿細管上皮由来感染細胞のみの症例が55例（83.4%）、尿路上皮由来細胞が混在する症例が9例（13.6%）、尿路上皮由来細胞のみの症例が2例（3.0%）存在した。S100P、SV40混合抗体による同時二重免疫染色は、尿中BKV感染細胞の由来同定が可能であり、尿細胞診検査に付加価値を与えると考える。

Cytopathology（掲載予定, DOI: 10.1111/cyt.12213）

キーワード：BK virus 感染細胞、S100P、SV40、二重免疫染色、尿細胞診

論文審査結果の要旨

尿中に出現するBK virus 感染細胞は細胞診ではデコイ細胞として認識され、臨床的に重要視されているが、その由来は未だ不明である。本研究は尿路上皮マーカーであるS100P抗体とBKV感染細胞マーカーである抗SV40抗体を用いて同時二重染色法により、その細胞由来を明らかにすることを試みた研究である。

本研究によりデコイ細胞の形態を示した細胞にはS100P細胞陽性の尿細管上皮由来細胞が83%、SV40陽性の尿路上皮由来細胞が3%、両者の混在症例が14%認められた。抗S100Pと抗SV40の同時二重染色法により BAK細胞の由来の同定が可能であることが判明した。本研究は尿細胞診検査に関して重要な知見を得たものとして価値ある業績であると認める。

よって、本研究は保健学博士の学位を得る資格があると認める。